

防 災 係

1 災害対策

(1) 訓練

ア 福生市総合防災訓練

日 時 平成 15 年 8 月 31 日 (日) 午前 9 時 00 分 ~ 正午
 目 的 大規模な地震 (直下型地震) が発生したとの想定による、市民の迅速な避難、市災害対策本部の設置・運営、関係機関との連携及び自主防災組織の行動力の向上を目的に実施した。

場 所 福生市役所 (147 人)
 第 1 訓練会場 福生第一小学校 (436 人)
 第 2 訓練会場 福生第二小学校 (225 人)
 第 3 訓練会場 福生第三小学校 (329 人)
 第 4 訓練会場 福生第五小学校 (225 人)
 第 5 訓練会場 福生第六小学校 (239 人)
 第 6 訓練会場 都立福生高校 (159 人)
 第 7 訓練会場 福栄ミレニアムパーク (88 人)
 第 8 訓練会場 福東グランド (125 人)

() 内は各訓練会場参加者数

参加機関 福生市 福生消防署 福生警察署 福生市消防団
 福生市交通安全推進委員会 NTT サービス東京 福生郵便局
 武陽ガス (株) 福生市医師会 公立福生病院 西多摩接骨師会福
 生支部 福生消防署防災女性の会 日本赤十字社救護ボランティ
 ア 福生アマチュア無線クラブ 福生 LP ガス協会 市内自主防
 災組織

参加者数 1,973 人

訓練項目

災害対策本部訓練	災害対策本部設置・運営訓練、情報収集・伝達・通信訓練、職員参集訓練
災害活動訓練	消防団震災活動訓練、避難誘導訓練、救助・救出訓練、災害医療対策訓練、避難所設置運営訓練、緊急物資搬送訓練、応急給水搬送訓練、二次災害防止・応急復旧訓練、交通規制訓練、生活関連施設応急復旧訓練
地域対策訓練	家庭における発災対応訓練、避難訓練、自主防災組織防災訓練、軽可搬式消防ポンプ放水訓練、防災資機材取扱い訓練

イ 起震車体験訓練

目 的 人工地震の揺れのなかで、出火防止、避難路確保等の実践体験を通じて防災行動力の向上及び防災意識の高揚を図ることを目的とし、自主防災組織 (町会)、学校、事業所等で福生消防署の協力により初期消火訓練、応急救護訓練等を併せて行った。

運用回数 23 回 (平日 10 回 土・日曜日 13 回)

運用先 自主防災組織 9 回 学校等 9 回 事業所等 5 回

体験者数 3,745 人

(2) 災害対策事業

ア 防災啓発活動

(ア) 外国人のための防災体験

開催日 平成15年6月8日(日)午後2時00分～午後4時30分
場 所 立川都民防災教育センター 立川防災館
参加者数 11人(外国人8人、ボランティア3人)

(イ) こども防災体験

開催日 平成15年6月22日(土)午後1時30分～午後4時30分
場 所 立川都民防災教育センター 立川防災館
参加者数 15人(子ども13人、保護者2人)

(ウ) 自主防災リーダー講習会及び救命講習会

講習日 平成15年7月12日(土)午前9時00分～午後4時00分
場 所 扶桑会館及び福生消防署
参加者数 58人

(エ) ふっさ防災展

開催日 平成16年1月15日(木)～18日(日)
場 所 福生市プチギャラリー
内 容 避難所・避難場所の紹介、市内街頭消火器設置場所の紹介、
災害用備蓄品・資機材の展示、初期消火体験、応急救護体験、
結索体験、消防服試着コーナー、防災訓練等の写真展示
見学者数 466人

(オ) 自主防災組織による災害体験学習

月日	自主防災組織名	学 習 場 所	参加者数(人)
6.22	本町第七地区	千葉県西部防災センター	62
7.19	福生団地地区	本所都民防災教育センター	35
9.7	志茂第二地区	神奈川県総合防災センター	41
9.12	富士見台地区	神奈川県総合防災センター	30
10.5	永田地区	さいたま市防災センター	27
10.11	南田園一丁目地区	さいたま市防災センター	45
10.25	武蔵野台一丁目地区	本所都民防災教育センター	28
10.26	本町第一地区	千葉県西部防災センター	22
11.9	本町第二地区	東京消防博物館	35
11.15	南地区	さいたま市防災センター	35
11.23	本町第八第一地区	埼玉県防災学習センター	35
11.29	鍋ヶ谷戸第一地区	山梨県立防災安全センター	30
12.7	本町第三地区	横浜市市民防災センター	25
12.14	本町第八第二地区	神奈川県総合防災センター	32
16.2.1	武蔵野地区	本所都民防災教育センター	27
2.8	加美第二地区	池袋都民防災教育センター	27
2.14	長沢地区	立川都民防災教育センター	29
2.15	本町第六地区	さいたま市防災センター	27
2.29	加美平団地地区	さいたま市防災センター	38
3.6	原ヶ谷戸地区	さいたま市防災センター	32
合計	20地区		662

(カ) 自主防災訓練の実施

自主防災組織名	参加者数(人)
福生熊川住宅地区	150
南地地区	30
内出地区	204
武蔵野地区	45
福東地区	52
鍋ヶ谷戸第一地区	110
熊牛地区	80
福生団地地区	107
南田園一丁目地区	
南田園二丁目地区	
南田園三丁目地区	72
牛浜第一地区	60
牛浜第二地区	80
原ヶ谷戸地区	59
志茂第二地区	20
本町第七地区	67
本町第八第二地区	5
加美平団地地区	50
永田地区	10
長沢地区	176
加美第一地区	104
加美第二地区	
合計(22地区)	1,481

イ 応急対策資器材・物資整備計画

応急食糧として、カンパン等のランニングストックを継続実施した。

避難所の機能強化のため、避難所に指定されている都立多摩工業高等学校に備蓄倉庫を設置した。

また、サバイバルフーズ、アルファ米等の応急食糧について、量の充実を図った。

ウ 初期消火体制強化計画

街頭設置消火器及び格納箱の新旧取替えを実施した。

2 消防活動

(1) 常備消防(福生消防署)

福生、羽村、瑞穂の2市1町を管轄区域として、本署と3出張所に総員186名の署員と消防ポンプ車5台、予備車2台、化学車1台、ハシゴ車1台、救急車3台、救急予備車1台、指揮隊車1台、指揮観察車1台、査察広報車3台及び人員輸送車1台からなる陣容で予防行政の執行、災害活動等に従事している。

出場状況(管轄区域)

(単位:件)

火災	非火災	水災	救急	救助	危険排除	緊急確認	合計	前年度合計
111	31	0	7,138	351	86	70	7,787	7,599

(2) 非常備消防(福生市消防団)

市内に5個分団、団員186人と消防ポンプ車5台、指揮車1台からなる消防団組織があり、消防活動を実施している。

ア 消防団組織

団長 (1人) 副団長 (4人) 本部付団員 (6人)	第一分団長 (1人)	副分団長 (2人)	部長 (3人)	班長 (9人)	団員 (20人)
	第二分団長 (1人)	副分団長 (2人)	部長 (3人)	班長 (9人)	団員 (20人)
	第三分団長 (1人)	副分団長 (2人)	部長 (3人)	班長 (9人)	団員 (20人)
	第四分団長 (1人)	副分団長 (2人)	部長 (3人)	班長 (9人)	団員 (20人)
	第五分団長 (1人)	副分団長 (2人)	部長 (3人)	班長 (9人)	団員 (20人)

イ 配置車両

分団名	車両ナンバー	車両の種類	車両購入年月日
団本部	八王子880さ6574	普通自動車「ワゴンタイプ」(ニッサン)	平成15年9月
第一分団	八王子88す・659	普通消防ポンプ自動車(ヒノ)	平成10年11月
第二分団	八王子88さ8964	〃	平成9年10月
第三分団	八王子830さ2303	普通消防ポンプ自動車(ミツビシ)	平成11年11月
第四分団	八王子88さ8169	普通消防ポンプ自動車(ヒノ)	平成9年3月
第五分団	八王子830さ2305	普通消防ポンプ自動車(ミツビシ)	平成12年12月

ウ 年齢別団員数

(単位:人)

年齢 団員数	18~20歳	21~25歳	26~30歳	31~35歳	36~40歳	41~45歳	46~50歳	50歳以上
186	3	30	47	62	34	8	1	1

エ 在職年数別団員数

(単位:人)

在職年数 団員数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
186	61	68	32	20	3	2	0

オ 退団・入団員数

(単位:人)

区分	平成15年4月1日現在	退団者	入団者	階級移動	平成16年4月1日現在
本部	5	2		2	5
本部指揮班	6	1	1		6
第一分団	35	4	4		35
第二分団	35	7	6	1	33
第三分団	35	2	3	1	35
第四分団	35	4	4		35
第五分団	35	7	7		35
合計	186	27	25	0	184

カ 消防団員火災出動状況

火災発生件数(件)	出 動 回 数(件)	延べ出動団員数(人)	平均出動団員数(人)
42	24	2,765	115.2

キ 消防団出動状況(風水害等)

延出動団員数(人)	出 動 回 数(回)
4	1

ク 消防団警戒等特別出動状況

警 戒 名	延べ出動団員数(人)	出動回数(回)
祭 礼 警 戒	97	2
七 夕 警 戒	324	4
歳 末 警 戒	429	3
その他の警戒	360	9
合 計	1,210	18
前年度合計	1,107	13

ケ 消防団各種訓練(消防)

訓 練 名	延べ出動団員数(人)	出動回数(回)
火 災 防 御 訓 練	380	5
ポ ン プ 操 法 訓 練	5,128	65
機 関 訓 練	1,699	41
規 律 ・ 礼 式 訓 練	291	4
教 育 訓 練	580	8
住 民 指 導	0	0
合 計	8,078	123
前年度合計	7,774	123

コ 消防団各種訓練(災害)

訓 練 名	延べ出動団員数(人)	出動回数(回)
教 育 訓 練	443	7
住 民 指 導	549	27
合 計	992	34
前年度合計	716	24

サ ポンプ操法審査会(第51回)

審査会は、団員に対して消防ポンプ操法の基本を身につけ、指揮者と団員との連携を訓練し、もって団員の士気向上を図り、火災防御活動が迅速かつ確実にでき、火災による生命・財産の損害を最小限に防止することを目的とし、ホースカーによるホース延長操法及び手びろめによる延長操法を隔年で実施している。

平成15年度	手びろめによる延長操法		
	優勝	第二位	第三位
総合成績	第二分団	第四分団	第三分団
チーム成績	第二分団B	第四分団A	第一分団B

前年度	ホースカーによるホース延長操法		
	優勝	第二位	第三位
総合成績	第二分団	第三分団	第四分団
チーム成績	第二分団A	第三分団B	第四分団B

(3) 火災の状況

ア 月別火災発生件数

月	区分	建物			車両 (件)	その他 (件)	合計 (件)	焼失面積 (㎡)	非火災 (件)	消防団 出動回数 (回)
		全焼 (件)	半焼 (件)	ぼや (件)						
4			2		1	1	4	9 (20)	2	2
5			1		1	2	4	40	1	2
6				1	3	1	5			2
7				3			3		3	3
8				1			1		1	
9				1			1			1
10				2		1	3	(5)	2	3
11				2			2		1	1
12			1			3	4	74 (40)	2	3
16年1			1	3		5	9	168	3	3
2				1	1	1	3			1
3		1		2			3	219 (18)	1	3
合計		1	5	16	6	14	42	510 (83)	16	24
前年度 合計		1	9	14	4	22	50	409 (101)	18	23

半焼は、部分焼を含む。焼失面積の()内は、表面積

イ 原因別火災件数

(単位：件)

原因		放火 (疑い含む。)	たばこ	ストーブ	ガスコンロ等	火遊び	その他	合計
件数	平成15年度	14	14		4	2	8	42
	前年度	15	9		4	6	16	50

(4) 消防水利施設

ア 水利

(単位：基、箇所)

消火栓		合計	防火水槽			貯水槽		合計	プール
150mm 未満	150mm 以上		20㎡未満	20㎡以上 40㎡未満	40㎡以上 60㎡未満	60㎡以上 100㎡未満	100㎡以上		
450	156	606	38 (0)	6 (0)	100 (89)	16 (16)	17 (17)	177 (122)	17

()は、耐震性防火水槽・貯水槽で内数

イ 消火栓新設箇所

(単位：mm)

番号	設置箇所	口径	備考
1	大字福生 1213 番地	100 × 75	地下式単口
2	南田園三丁目 14 番地	"	"
3	大字熊川 1357 番地	"	"
4	大字福生 2024 番地	250 × 75	"
5	大字熊川 508 番地	75 × 75	"
6	大字熊川 398 番地	100 × 75	"
合計	6 箇所		

ウ 消火栓移設箇所

(単位：mm)

番号	設置箇所	新口径	旧口径	備考
1	大字福生 973 番地	75 × 100	75 × 100	地下式単口 地下式単口
合計	1 箇所			